

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	スマイル・キッズ増尾		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 6日 ~ 令和 7年 1月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 6日 ~ 令和 7年 1月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	戸外遊びの時間を多く設けている。	<ul style="list-style-type: none"> 身体を動かすことで、体力作りやボディイメージの向上を図る。 交通ルールを守ることや、大人と手をつないで歩く等、身を守るための生活習慣を身につける。 公園遊びや散歩を通し、事業所外の方と関わる機会を設けて社会性を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外でのルールがある集団遊びを、今以上に取り入れる。 おひとりおひとりの発達段階、興味や課題に合わせた療育教材をさらに充実させていきたい。
2	多機能型の事業所運営の為、継続してお子様の支援が出来ること	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期から学齢期へお子様の不安やストレス軽減、慣れた職員や活動の継続支援で、幼児期から学齢期のお子様の不安やストレス軽減出来るようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 成長に伴い、支援のアプローチが異なる為、学齢期から思春期の心理的な変化を研修等で知識の向上に努めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者等が同伴して行うプログラムの提供や、保護者会の設定が困難。	<ul style="list-style-type: none"> 環境の変化に敏感な子どもがいる。 保護者分の駐車場の確保が困難。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭でできる療育や制作等を、毎月の通信で提供していくことを検討。
2	利用できる曜日が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> 多機能型となっており、平日は放課後等デイサービスのご利用者様で定員になってしまっている為、児童発達支援のお子様を受け入れられない状況。 	<ul style="list-style-type: none"> 同法人内で提案できる事はご案内したり、障害福祉サービスの情報をご案内するなどしていく。
3			